

GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース

2019

2

Vol.8 No.2



2月号

-
- 31 **5万分の1地質図幅「身延」の紹介** 尾崎正紀
-
- 41 **FREAで地質を楽しもう**
—福島再生可能エネルギー研究所2018年一般公開での
地質展示— 阪口圭一・石原武志・村田泰章
-
- 45 **東・東南アジア地球科学計画調整委員会（CCOP）
第54回年次総会・第71回管理理事会参加報告**
加野友紀・内田利弘
-
- 51 **地質で鉄道をもっと楽しくするアプリ「鉄道地質」の紹介**
内藤一樹
-
- 55 **「GSJ 筑波移転」第5回 渡邊頼子さんインタビュー**
「組織運営の実務側から見た筑波移転」
(聞き手) 小松原純子
-
- 60 **受賞・表彰「鉄道地質が『Linked Open Data チャレンジ Japan 2018
最優秀賞』を受賞」**

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 中島礼
委員 井川怜欧
児玉信介
竹田幹郎
落唯史
小松原純子
伏島祐一郎
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第8巻 第2号
平成31年2月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : Yoshinori Miyachi
Deputy Chief Editor : Rei Nakashima
Editors : Reo Ikawa
Shinsuke Kodama
Mikio Takeda
Tadafumi Ochi
Junko Komatsubara
Yuichiro Fusejima
Rie Morijiri

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 8 No. 2
February 15, 2019

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



三保半島は、安倍川から流れ出た土砂が沿岸流によって東方へ移動して堆積し、折戸湾を囲むように段階的に成長した、我が国を代表する分岐砂嘴である。現在のバリアー地形をなしたのは約7,000年前からとされ、しかも16世紀以前は三保嶋というバリアー島であったと記録されている。現在では清水港の発展と共に人工改変が著しく進み、折戸湾側では原地形は保存されていない。三保の松原は三保半島南岸に広がる海浜の名称であり、松林が生い茂る海浜と富士山の眺望は、浮世絵でも広く知られている。しかし、近年では、海岸浸食が社会問題化している。その主な原因は安倍川での土砂採取、砂防ダムの建設や護岸工事を行ったためと言われている。

(写真・文：産総研地質調査総合センター地質情報研究部門 七山 太)

Artificially modified branching barrier spit, Miho Peninsula and Miho no Matsubara beach in Shizuoka, central Japan. Photo and Caption by Futoshi NANAYAMA